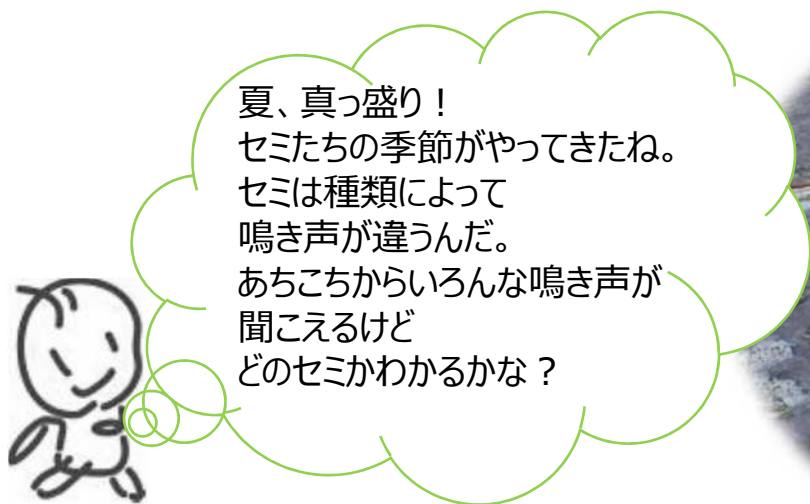


あいち海上の森センター情報誌



ムーアカデミー通信

Aichi Kaisho Forest Center News Letter vol.48 Summer2021



夏、真っ盛り！
 セミたちの季節がやってきたね。
 セミは種類によって
 鳴き声が違うんだ。
 あちこちからいろんな鳴き声が
 聞こえるけど
 どのセミかわかるかな？



アブラゼミ

今号のトピックス

- ・海上の森散歩 ～夏から秋に向けての見どころ～…………… (2P)
- ・この人 赤津自然観察会主宰 上杉 毅さん…………… (3P)
- ・センター職員随想リレー 語りべの一言…………… (3P)
- ・海上の森はいま（最近あった主な出来事）…………… (4P)

里と森の教室について

里と森の教室が5月23日から始まりました。今年度は17家族45名の方が参加されています。初日は、サツマイモ・里芋の植付を、5月30日には田植えを行いました。大人も子供も泥に足を取られながらも熱心に取り組みました。



田植え



畑草取り

6月20日と7月11日は稲や芋の成長を願いながら暑い中、田畑の草取りに精を出しました。
 秋には稲刈りや芋掘りが予定されており、皆さん稲や芋が大きく成長することを願っています。

海上の森散歩 ～野菊を愛で、赤とんぼを追って森歩き～

ツクツクボウシの合唱が始まり、程なくすると海上の森は秋を迎えます。秋を代表する草花といえば、野菊の仲間です。田の畦や林縁を可憐な花が彩るようになります。虫では赤とんぼが文字通り真っ赤になり、空を舞うようになります。他にも、コオロギの美しい音色が聞こえ、バッタやカマキリなどの姿も目立つようになります。チョウの仲間ではタテハ類が増え、渡りをするチョウとして有名なアサギマダラの華麗な飛翔姿が見られます。

今回は、海上の森で出会うことのできる野菊と赤とんぼを紹介します。

観察できるコースは①～②～③～④～②の道沿いの林縁や田んぼ周りの草原です。

注)「赤とんぼ」とは文字通り「赤いとんぼ」のことを指す総称ですが、一般的には「アカネ属」のトンボを指すことが多いようです。

キダチコンギク



ノコンギク



ヤマシロギク



リュウノウギク



サワシロギク



シラヤマギク



アサギマダラ



ヒメアカネ



国道155号
(国道248号)

愛知環状鉄道

あいち海上の森センター
(ムーアカデミー)

本館

遊歩施設



ルリタテハ



この人「アリの結婚飛行のなぞ」 上杉 毅さん

皆さんはアリの結婚飛行をご覧になったことがありますか。アリは働きアリ、女王アリ、オスアリなど、異なる役割を担う個体が協力してひとつの巣を営んでいます。その目的は増殖であり、結婚飛行は大切な行事です。結婚シーズンには羽アリたち(新しい女王となるメスアリとオスアリ)は交尾相手を探すため、育った巣から飛び立ちます。

大きな巣を作り、多数の羽アリを送り出す種にヒラアシクサアリがあり、海上の森では8か所で巣が確認されています。私はひとつの巣を選んで観察を続けています。

2021年6月3日、羽アリが巣の外に現れました。6月8日、数百頭の羽アリが育った巣のあるアラカシの幹を登っていきました。6月12日と13日にはやはり数百頭から千頭と思われる羽アリが巣を出て幹を登っていきました。昨年は8月にも羽アリの出巣を確認していますので、まだ結婚飛行のシーズンは続きそうです。

興味深いことに、巣を出るのは羽アリだけでなく、働きアリたちがこれから羽アリたちの登る幹を縦横に走り回ります。またせっかく幹を登ったのにどこかで踝を返して下りはじめ、そのまま巣穴に戻ってしまう羽アリも少なくありません。

羽アリたちははじめから結婚飛行のために巣を出るのではなく、働きアリの動きにつられて巣を出て幹を登っていくように思われます。巣を出た羽アリが巣に戻るのは先導役の働きアリが巣に戻るのを追いつけた結果なのでしょう。

そんななかもはや働きアリのあとを追いかけて、飛行の体勢を整えている羽アリもいます(写真1)。こうした個体では何らかの原因で行動原理が追跡から待機に切り替わっているのでしょう。

ヒラアシクサアリの羽アリは大木の梢(こずえ)から飛び立つようですが、地上からその様子は確認できません。それでも交尾を終えた新女王を6月下旬に3度、四つ沢近くで見ました(写真2)から、間違いなく結婚飛行は行われています。皆さんの中に樹高10メートル以上の広葉樹のうへの羽アリを観察するアイデアをお持ちの方はいませんか。あればご提案をお待ちしています。



写真1 巣を出た新女王アリ



写真2 四つ沢の路面にいた交尾済み女王。翅は交尾後に自ら切り落とす。

プロフィール

63歳になったので週3日の勤務を申請し認められました。会社に感謝。それでも勤務日には出勤前の自然観察が続いています。瀬戸市在住
連絡先 u190957@yahoo.co.jp



センター職員随想リレー 語りべの一言

ここ数年、「SDGs (エスディージーズ)」という言葉が浸透してきました。SDGsとは、国連が定めた持続可能な開発目標のことです。具体的には、将来に渡って地球に住む全員が誰一人取り残されることなく地球で生活していけるようにするための目標です。

海上の森では、「15.陸の豊かさを守ろう」を中心に間伐や里山保全、生態系の保護を行っています。国連が定めた目標といわれると身構えてしましますが、難しいことはありません。少し先の未来をよりよくするために身近な小さいところから改善していけばいいのです。

例えば海上の森に来るときに公共交通機関を使ってみる、散策で出たゴミを全て持ち帰るなど、普段の行動を少し方向転換するだけで目標達成に協力できます。余裕があれば、さらに一歩進んで、公共交通機関を自転車にかえる、散策中に見つけたゴミを拾って持ち帰るといった行動をとれば更なる効果が見込めます。これらの積み重ねで自然が守られ、将来に渡って森の散策を楽しむことができるようになるのです。SDGsを意識して海上の森を散策してみたいはかがでしょう♪

(S.I.)

海上の森はいま（主な出来事）

その1 養蜂再挑戦

昨年ニホンミツバチを育てていましたが、秋にオオスズメバチが襲来し、残念ながら巣を放棄してしまいました。

この度、5月に「中部日本みつばちの会」の稲生英子さん（ムーアカデミー通信No.46の「この人」で紹介）から分蜂をいただき、養蜂に再挑戦しています。今年は、昨年の反省を踏まえて外敵対策を強化し、ミツバチが安心して子育てと集蜜に集中できるようにしました。秋の採蜜を楽しみにしています。

なお、巣箱は本館1階の展示室北側ベランダに設置しています。窓ガラス越しにミツバチの活動がご覧いただけますので、是非覗いてみてください。



その2 ホタル鑑賞会

海上の森の会主催による「ホタル鑑賞会」が、6月12日に海上の里のため池で開催されました。多くの家族連れの方々が参加されました。当日は雨も心配されましたが、幸い、曇天で風もなく蒸し暑いホタルの活動日和となりました。

夕陽が落ち始めた頃に森の入り口駐車場を後にし、ホタルとの出会いを期待しつつ、海上の里までの道のりを約30分かけて歩きました。

日の長い梅雨時、歩き始めた頃は明るかったのですが、海上の里に到着した頃には真っ暗になりました。

ため池周辺の木々や草むらのあちこちで点滅する光が見えます。目を凝らすとやや長い間隔と短い間隔で点滅する2種類の光があります。ゲンジボタルとハイケボタルです。参加者は幻想的な光景に親子ともどもしばし見入っていました。

令和3年度海上の森アカデミー「森女養成コース」受講者募集！！

さあ、あなたも「森女」になりませんか？

対象・定員：森林の整備や保全に関心のある女性・9名

受講日：10/2、10/3、10/23、10/24、11/13、11/14（6日間セット）

申込方法：別紙様式に必要事項を記載の上、郵送、メール、FAXまたは持参にてお申込みください。

メールの場合は、件名を「海上の森アカデミー森女養成コース受講申込」としてください。

申込締切：9月8日（水）必着

申込先：あいち海上の森センター

受講者の決定：提出された書類により選考します。

詳しくはこちら
<QRコード>



編集後記

夏本番。毎日蒸し暑い日が続きます。森の中は日陰があるとはいっても、巡視や作業を行えば直ぐに汗びっしょり。着替えが何枚あっても足りません。

皆さんも水分や塩分補給をしっかりと行い熱中症対策にも心がけましょう。

編集・発行 あいち海上の森センター（ムーアカデミー）

発行日 2021年8月10日

〒489-0857 瀬戸市吉野町304-1

TEL: 0561-86-0606 FAX: 0561-85-1841

E-mail: kaisho@pref.aichi.lg.jp

URL: <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kaisho/>

< QRコード >



ホームページ